

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	昭島ドリーム保育園
施設所在地	昭島市
法人名	一般社団ドリーム

1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由>

園の特色として4月より『リトミック』を行っている。
音楽に合わせて動く経験をし、思い通りに身体を動かす楽しさを味わい、色々な動きに挑戦したり、音楽を聞き身体を使って自分の思いを表現している。
その経験から、音への興味関心を広げ、音を楽しんだり、音を聞いて自ら表現する喜びを味わう事を目的とした。

2. 活動スケジュール

令和7年9月～令和8年3月まで 概ね月1回活動している。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ① 木琴、鉄琴、鈴、マラカスなど様々な楽器を用意して、簡単に使い方を知らせる。
- ② 机の上に楽器を置き、好きな楽器を存分に触れるようにする。
- ③ 音の違いを感じる。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

子どもたちが好きな楽器を存分に触れるように、机の上に楽器をおく。
(口に触れる楽器は感染症防止のため置かない)
声はかけず『おもちゃのチャチャチャ』などの曲を弾きリズムに合わせてやすいようにする。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・本物に触れることで、飽きる心配がなくいつまでも遊んでいた。
- ・太鼓を気に入った子がいて、今度は青い太鼓を作る。と言っていた。
- ・本物の楽器を見た事で自分たちで楽器を作ったり、どういう楽器があるか知る良い機会になった。
- ・友だちと隣同士で楽器を使う事により、相手の動きを見たり、同じ物を使ってみたい。という気持ちが生まれていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・どんな音が出るか、楽器の上でばちを滑らせたり、工夫して音をならしていた。
- ・保育士は特に声をかけなかったが、保育士の動きを真似て、両手で木琴や鉄琴を叩いていた。
- ・始めて触れる楽器を喜び、どの子も吸い寄せられるように、楽器に触れ夢中で音を鳴らしていた。